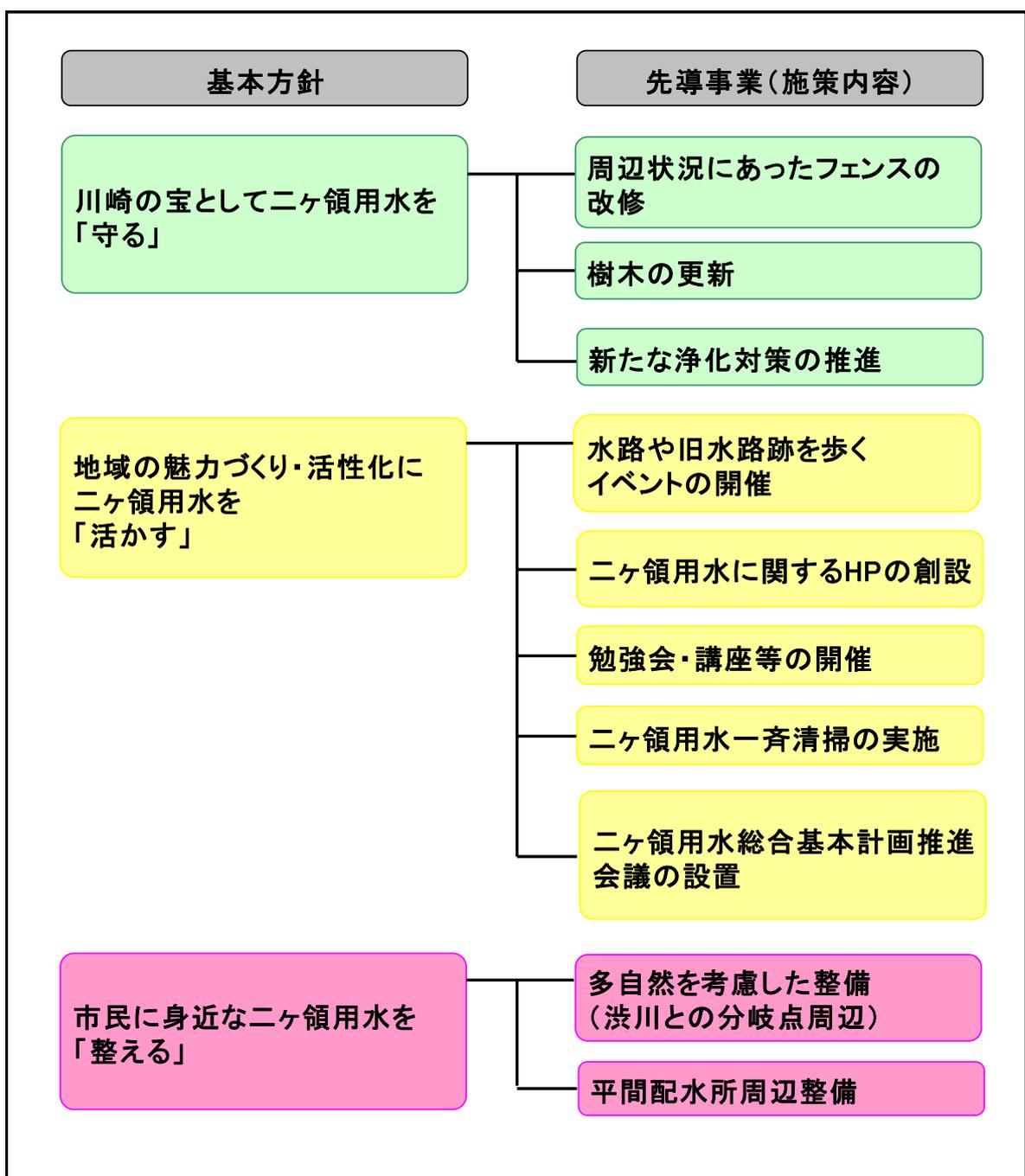


## 5. 計画の実現に向けて

二ヶ領用水総合基本計画の基本方針に基づき、各推進施策を実施していくにあたり、まず先導事業を展開していきます。先導事業とは、優先的かつ重点的に施策実施を行っていくことにより、その成果が広く推進施策全体へと波及し、各基本方針の早期達成を目指すものです。なお、推進会議は、計画発動の起点として位置付けます。

また、計画の実現に向けては、市民と行政がそれぞれの役割と責任のもと、相互の立場を尊重し、より協働して取り組んでいくことが大切です。

したがって、先導事業を実施するにあたっては、スムーズに事業進捗が図れるように、具体的な規範として市民と行政の実施体制についてのとりまとめを行いました。



	基本方針	施策内容	実施体制	
			市民	行政
守る	先導事業① 川崎の宝として 二ヶ領用水を「守る」	周辺状況にあったフェンスの改修	—	事業実施
		樹木の更新	企画提案・協働実施	協働実施
		新たな浄化対策の推進	参画	事業実施
活かす	先導事業② 地域の魅力づくり・活性化 に二ヶ領用水を「活かす」	水路や旧水路跡を歩くイベントの開催	事業実施	支援・参画
		二ヶ領用水に関するHPの創設	企画提案	事業実施
		勉強会・講座等の開催	事業実施	支援・参画
		二ヶ領用水一斉清掃の実施	事業実施	支援・参画
		二ヶ領用水総合基本計画推進会議の設置	参画	事業実施
整える	先導事業③ 市民に身近な二ヶ領用水 を「整える」	多自然を考慮した整備	企画提案	事業実施
		平間配水所周辺整備	企画提案	事業実施

#### 実施体制区分

- 企画提案：事業実施前での企画立案
- 参画：事業実施中での積極的もしくは主体的に加わること
- 協働実施：事業実施に関して、主体としての可能性の高いもの、もしくはその役割に応じて事業を実施すること、全ての段階に関わる
- 事業実施：事業主体として行うもので、全ての段階に関わる
- 支援：人や物的支援

## 川崎の宝として二ヶ領用水を「守る」

- ・二ヶ領用水は区間により様々な表情を持っていますが、中原区内の一部区間については、転落防止のみが目的となっているフェンスが見受けられます。また、箇所ごとの特徴や状況にあった景觀に配慮したフェンスの改修が求められていることから、公共空間景觀形成ガイドラインや周辺状況を考慮した改修を推進します。
- ・多摩区内の宿河原線や中原区内の区間においては、市民の手による樹木の維持管理が行われていますが、樹木の老朽化が進んでいることから、更新が必要となっています。行政・市民が連携して老朽化した樹木の撤去や植樹、維持管理を行うとともに、樹木老朽化の診断について関係機関と協議を行い、計画的な樹木更新を推進します。
- ・二ヶ領用水の浄化対策については、川が本来持っている「自浄作用」を促す取組が求められており、河床のコンクリートを剥がし、水循環を促すとともに礫の投入により接触材としての浄化、更に、礫（砂利）による植生生息域の拡大など、新たな浄化対策を推進します。

表 40 施策内容実施体制

施策内容	実施体制	
	市民	行政
周辺状況にあったフェンスの改修	—	事業実施
樹木の更新	企画提案・協働実施	協働実施
新たな浄化対策の推進	参画	事業実施

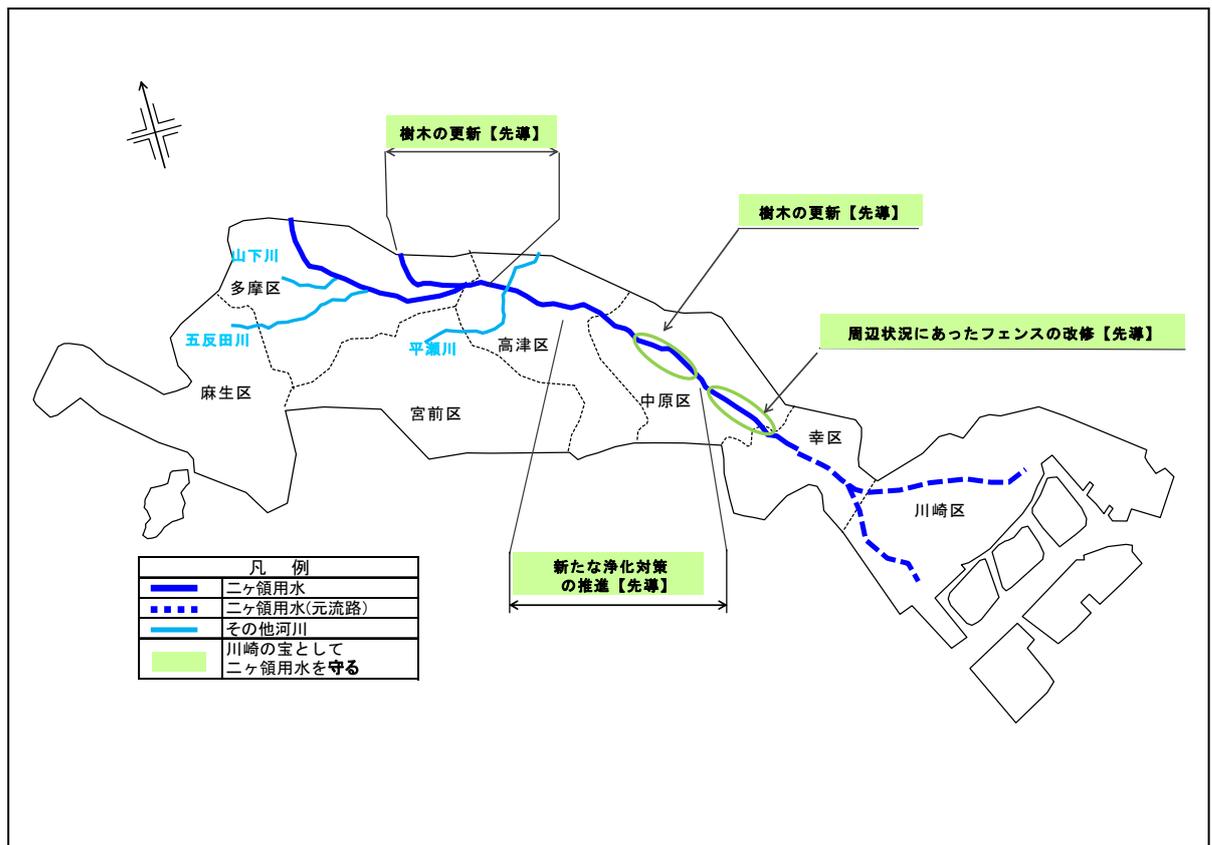


図 39 施策内容位置図

## 地域の魅力づくり・活性化に二ヶ領用水を「活かす」

- ・二ヶ領用水を活かす取組を進めるためには、市民との連携や協働が前提となり、そのためには計画の内容を広く普及・啓発し、市民にアピールすることが重要です。そこで、「二ヶ領用水総合基本計画」に関するホームページを新設し、計画の内容や、策定後実施される「二ヶ領用水総合基本計画推進会議」の結果などを公表します。
- ・現存する流路だけでなく、過去に存在した旧流路も対象とした散策イベントや一斉清掃、勉強会、講座が継続的に実施できるよう市民と連携した取組を推進します。
- ・二ヶ領用水では様々な市民活動が行われていますが、今後更なる円滑な発展には、行政との緊密な連携・情報共有が不可欠です。そのため、市民と行政が定期的に会合をもち、計画の着実な推進や市民ネットワークの醸成の場を構築していきます。
- ・推進会議では、各施策内容の進捗状況や課題等について報告するとともに、課題が生じている場合は改善策を検討していきます。

表 41 施策内容実施体制

施策内容	実施体制	
	市民	行政
水路や旧水路跡を歩くイベントの開催	事業実施	支援・参画
二ヶ領用水に関する HP の創設	企画提案	事業実施
勉強会・講座等の開催	事業実施	支援・参画
二ヶ領用水一斉清掃の実施	事業実施	支援・参画
二ヶ領用水総合基本計画推進会議の設置 (施策実施状況報告会)	参画	事業実施

## 市民に身近な二ヶ領用水を「整える」

- ・ 中原区内の渋川との分岐点周辺においては、未改修部分が存在します。その区間の整備について市民が水辺に親しめるよう、自然を残した整備のあり方を検討します。また、その他の区間についても治水上可能な区間においては、多自然整備を推進していきます。
- ・ 平間配水所は、かつて二ヶ領用水が工業用水として各地の工場に配水されていたことから、二ヶ領用水の歴史を知る上で重要な拠点であると言えます。現在では住宅や道路となり流路の存在がなくなっていますが、平間配水所周辺の未利用地において、市民が集い、二ヶ領用水の歴史が見えるような整備を推進します。

表 42 施策内容実施体制

施策内容	実施体制	
	市民	行政
多自然を考慮した整備 (渋川との分岐点周辺)	企画提案	事業実施
平間配水所周辺整備	企画提案	事業実施

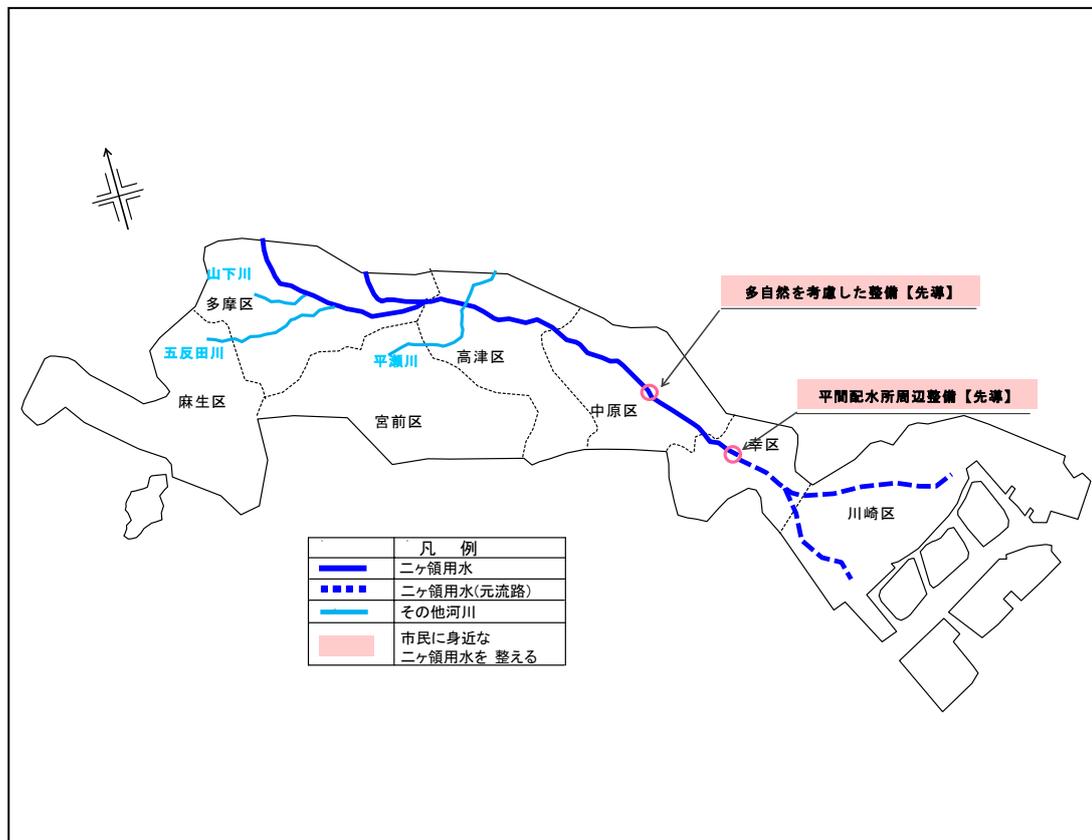


図 40 施策内容位置図

---

---

## 6. 計画の進捗管理

---

### (1) 計画の進捗管理方針

本計画は、基本理念である「水文化都市川崎の創造」を実現するため、効果的で実現性の高い基本計画として、概ね10年間における事業目標を定めたものです。（先導事業は3年以内の事業着手を目指します）

引き続き、二ヶ領用水をよりふさわしい形で後世へ継承していくためには、地域の方々の力を借りながらより良いものにしていきたいと考えています。そのためには、行政が事業として推進していく部分と、市民や市民団体・NPO等が自主的な活動で事業を推進していく部分とが良好に融合していくことが必要です。

このため、行政と市民が連携し、お互いの相互理解の下、PDCAサイクル（Plan（計画）→Do（実施）→Check（検証）→Act（改善））に従い計画の課題整理や進行管理をすることが必要です。

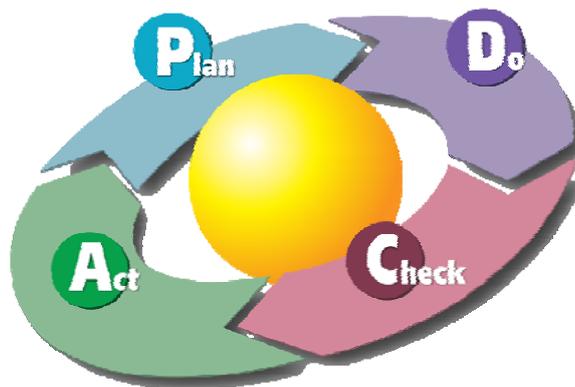


図 41 PDCA サイクルによる計画の進捗管理

そこで、市民、学識経験者、行政等の参画により「二ヶ領用水総合基本計画推進会議（以下、推進会議）」を設置し、毎年、各施策内容の進捗状況や課題等について報告するとともに、課題が生じている施策内容については、改善策を検討し、次年度の取組の方向性を示します。

施策の実施にあたっては、本市総合計画に位置付けを行い、実行計画等と整合を図りながら着実に取組を進めます。

推進会議の中で議論された結果はホームページなどを通じて広く市民に公表していきます。

## (2) 推進会議の概要

推進会議は、以下の要領で開催します。

### 【開催概要】

平成 25 (2013) 年度に推進会議を設置し、その後は年 1 回程度開催します。

### 【参加者】

市民代表、学識経験者及び関係行政機関（川崎市）で構成します。

### 【協議・報告内容】

計画策定以降、市民と行政（川崎市）が協働して推進した計画の進捗状況、検討の内容について、川崎市・市民から推進会議に報告します。推進会議は、PDCA サイクルに従い、報告を踏まえて、適切な進捗管理を実施します。また、進捗状況について市民へ公表します。

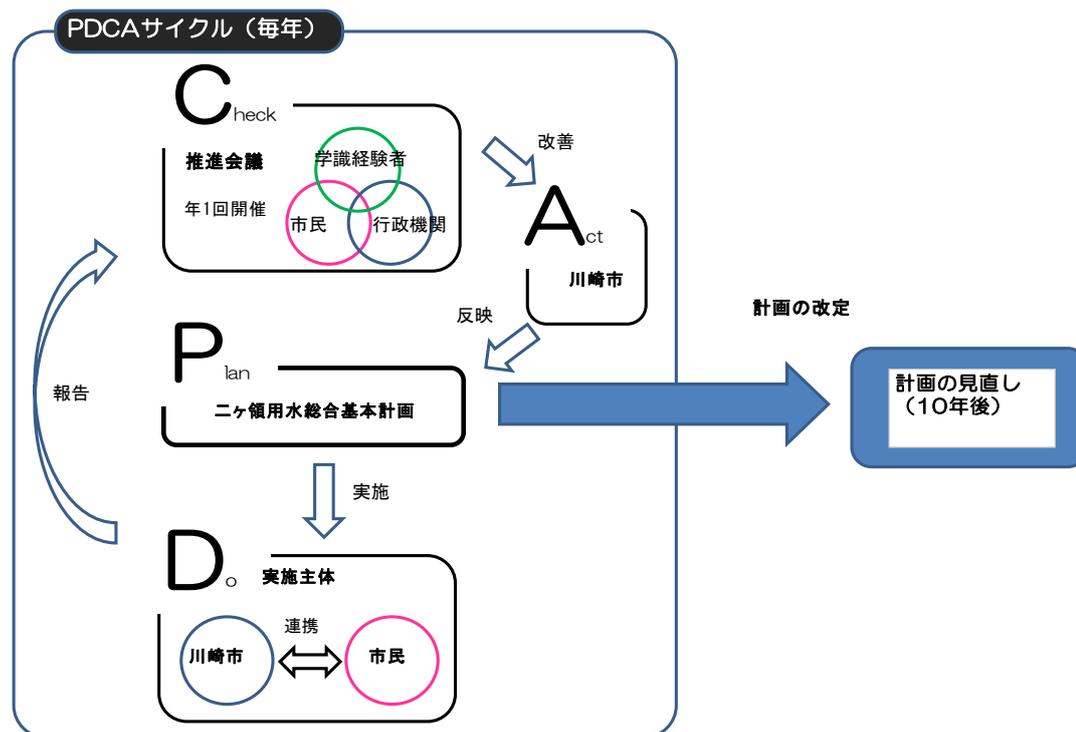


図 42 二ヶ領用水総合基本計画 進捗管理体制

## 委員長・市民代表からのコメント

### 委員長コメント

「二ヶ領用水総合基本計画検討委員会」では、平成5年に安全で豊かな都市空間の創造を目指し策定された現行の「二ヶ領用水総合基本計画」について、改めて時代に即した実現可能な計画に改定することを目的として、平成23年7月に第1回の委員会を開催して以降、計9回に渡り現行の計画の見直し検討を行ってまいりました。

本検討委員会では委員長として、市民代表・学識経験者・関係行政職員の各委員が、それぞれの立場や得意分野を活かした意見を引き出していただけるよう、また二ヶ領用水が川崎市の宝としてふさわしい形で後世に継承していける計画となるよう、委員会運営を心がけてきました。前計画策定にも携わりましたが、当時とは二ヶ領用水を取り巻く社会・経済環境は大きく変化しました。また、河川をめぐる考え方も時代の変化がありました。こうした時代の流れを考慮しながら、新たな地域の夢を描くよう議論を重ね、基本計画を取りまとめました。

つきましては、今後設置される二ヶ領用水総合基本計画推進会議などを通じ、市民と行政が緊密に連携し、施策内容の実施に積極的に取り組んでいただくことで、「水文化都市川崎の創造」が実現できることを期待いたします。

二ヶ領用水総合基本計画検討委員会委員長 宮村 忠

### 市民代表コメント

今回、川崎市より二ヶ領用水総合基本計画の改定を行うにあたり、市民が中心となる会議の委員になって欲しいとの依頼があり、二ヶ領用水竣工400年記念シンポジウムに引き続き、二ヶ領用水の活動に携われるならとの思いから、微力ながら協力させていただこうと思い、引き受けることとさせていただきます。

改定主旨としては、時代背景を踏まえ、実現可能な計画に改定したいとのことでしたので、会議の前に現在の計画内容を改めて確認したところ、確かに現在の二ヶ領用水の周辺状況を見ると、実現が難しいものばかりとの印象を受けざるをえませんでした。

そのような中、今回の市民会議委員については、二ヶ領用水沿川の町会の方々、各区役所の方々が出席されており、二ヶ領用水周辺での様々な問題や活動内容の報告、今後二ヶ領用水に望むこと等の意見を交わし、有意義な会議が行われ、時代に即した改定が行えたのではないかと考えております。

私も二ヶ領用水で活動を行わせていただいていることから、今後もよりよい形で後世へ引き継いでいくための活動を、二ヶ領用水周辺の方々と連携して計画が実現するために努力していきたいと思っております。

二ヶ領用水総合基本計画検討委員会市民会議代表 中山 博夫



## 参 考 資 料

1. 『東京近郊一日の行楽』(田山花袋)抜粋
  2. ニヶ領用水総合基本計画 検討委員会、市民会議 メンバー
  3. ニヶ領用水総合基本計画 検討委員会、市民会議 開催概要
-

---

---

## 1. 『東京近郊一日の行楽』（田山花袋）抜粋

東京近郊一日の行楽より

田山花袋

登戸河岸から見た多摩の上流の翠微、これがまた捨て難い。瀬の多い脈のように流れた川、その先に複雑した丘陵、またその先に奥深く多摩の山群が美しく日にかがやいていた。百草の松連寺で見たよりも、もっとはっきりと多摩山群が見える。八王子の裏の高尾、小仏の翠色も指された。

榎戸から溝の口の方へ流れて行っている用水の岸は、ちょっと風情に富んでいる。第一、水量の多いのが気持ちいい。榎戸の橋のところにある大堰からして既に見事である。四、五年前、暑い日に通った時には、この用水の岸は深樹と竹藪とに蔽われて、その中を水が凄まじい音を立てて流れて行くというさまで、おりおり水に臨んで、夢みるような合<sup>ねむ</sup>歡の花が咲いているなど、そぞろに私達の心を惹いた。しかし、それから二、三年して行った時には、その岸の樹も伐られたりすかされたりして、風情が大分浅露になっていた。しかし、まだ捨てることの出来ないある特色を持っていた。それに、相模丘陵のすぐ近く迫っているのも好かった。

この用水は久地の梅のある少し手前で、大堰をつくって、溝の口の方へ流れて行っているが、その堰あたりも、丘陵が迫って来ていて感じがいい。夏行った時には、其処で村の子供等が銅のような肌をして、河童のように潜ったり飛び込んだりしていた。

久地の梅は、依然たる田舎の梅林だ。ヤヤ世離れたという意味では面白いが、それほど大騒ぎをするようなところでもない。梅もそんなに多くない。

そこから二子の亀屋まで行く間は、多摩川が見えて、中々いい。私は薄暮にそこを通ったが、いかにも落附いていて、田舎という気がした。私達はそこから二子に来て、亀屋に泊まった。

大正十二年博文館刊より抜粋  
現代教養文庫『東京近郊一日の行楽』一九九一年初版

---

2. ニヶ領用水総合基本計画 検討委員会・市民会議 メンバー

(1) 検討委員会メンバー

		氏 名	所 属 等
1	学識経験者	宮村 忠	関東学院大学名誉教授
2		鈴木 誠	東京農業大学教授
3		知花 武佳	東京大学大学院准教授
4	市民会議	中山 博夫	市民会議（代表）
5		關山 武男	市民会議（副代表）
6		阪口 拓造	市民会議（副代表）
7		萩原 ひとみ	市民会議（副代表）
8	関係機関	佐々木 智之 (坪谷 剛)	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所調査課長
9		榎木 良雄 (鈴木 和彦)	神奈川県横浜川崎治水事務所川崎治水センター管理課長
10	行政	小林 登 (亀川 栄)	総合企画局都市経営部企画調整担当課長
11		草野 静夫 (山崎 慎太郎)	経済労働局農業振興センター農地課長
12		奥澤 豊	まちづくり局総務部企画課長
13		江田 政男 (窪田 雅一)	建設緑政局道路河川整備部河川課長
	事務局	磯田 博和	建設緑政局計画部企画課長
		箕輪 秀生	建設緑政局計画部企画課課長補佐
		飯塚 英樹	建設緑政局計画部企画課主任
		張戸 祐典 (伊波 信太郎)	建設緑政局計画部企画課
		萩原 茂	建設緑政局緑政部緑政課長
		吉濱 匡孝 (濱見 健)	建設緑政局道路河川整備部道路施設課長

※ ( ) 内氏名は前任の委員

(2) 市民会議メンバー

		氏 名	所 属 等	
1	市民団体	長島 保	元二ヶ領用水竣工400年記念事業実行委員会委員長	
2		中山 博夫	元二ヶ領用水竣工400年記念事業実行委員会副委員長	
3		關山 武男	二ヶ領用水宿河原堀を愛する会・宿河原堤桜保存会	
4		阪口 拓造	二ヶ領用水ウォッチング・フォーラム	
5		安田 典子 (津脇 梅子)	二ヶ領用水・中原桃の会	
6	区役所推薦	三竹 隆雄	宿河原町会会長	多摩区役所推薦
7		太田 克躬	前土淵自治会会長	多摩区役所推薦
8		瀧村 治雄	久地第1町内会会長	高津区役所推薦
9		萩原 ひとみ	小杉町3丁目町会会長推薦	中原区役所推薦
10		大澤 義和	下平間町内会会長	幸区役所推薦
11		荒金 繁	大師地区町内会連合会副会長	川崎区役所推薦
12	行政	門間 透 (大坪 浩行)	多摩区役所まちづくり推進部企画課長	
13		八木 亮子	高津区役所まちづくり推進部企画課長	
14		川添 文夫 (綱島 清)	中原区役所まちづくり推進部企画課長	
15		佐々木 智子 (鈴木 猛)	幸区役所まちづくり推進部企画課長	
16		原田 明 (金子 浩美)	川崎区役所まちづくり推進部企画課長	
17		江田 政男 (窪田 雅一)	建設緑政局道路河川整備部河川課長	
	事務局	磯田 博和	建設緑政局計画部企画課長	
		箕輪 秀生	建設緑政局計画部企画課課長補佐	
		飯塚 英樹	建設緑政局計画部企画課主任	
		張戸 祐典 (伊波 信太郎)	建設緑政局計画部企画課	

※ ( ) 内氏名は前任の委員

### 3. ニヶ領用水総合基本計画 検討委員会・市民会議 開催概要

会議名	日付	場所	主な協議事項
第1回 市民会議	2011/06/10 10:00~	明治安田生命ビル	○ 計画改定までの進め方について ○ 現計画の概要について
第1回 検討委員会	2011/07/12 14:30~	川崎市役所第4庁舎	○ 計画改定までの進め方について ○ 現計画の概要について
第2回 市民会議	2011/08/12 10:00~	中原区役所	○ ニヶ領用水の現状について ○ ワークショップの開催
第2回 検討委員会	2011/09/01 10:00~	明治安田生命ビル	○ ニヶ領用水の現状について ○ 基本理念・基本方針について
第3回 市民会議	2011/10/26 14:00~	中原区役所	○ 基本理念・基本方針について ○ 施策の方向性について
第3回 検討委員会	2011/11/17 14:00~	明治安田生命ビル	○ 基本理念・基本方針について ○ 施策の方向性について
第4回 市民会議	2012/01/23 10:00~	明治安田生命ビル	○ 基本理念・基本方針について ○ 施策の方向性について ○ ワークショップの開催
第4回 検討委員会	2012/02/16 15:30~	明治安田生命ビル	○ 基本理念・基本方針について ○ 施策の方向性について ○ 実行計画に向けた市民意見とりまとめ
第5回 市民会議	2012/05/14 9:30~	川崎区役所	○ 計画改定案について ○ 計画に位置付ける施策内容について
第5回 検討委員会	2012/05/25 9:30~	明治安田生命ビル	○ 計画改定案について ○ 計画に位置付ける施策内容について
第6回 検討委員会 市民会議 (合同会議)	2012/07/06 13:00~	現場見学 ニヶ領せせらぎ館	○ 現場見学会の開催 ○ 計画改定案について
第7回 市民会議	2012/08/09 14:00~	明治安田生命ビル	○ 計画改定案について
第7回 検討委員会	2012/08/28 14:00~	明治安田生命ビル	○ 計画改定案について
第8回 検討委員会 市民会議 (合同会議)	2012/11/02 10:00~	明治安田生命ビル	○ 計画改定案について
パブリックコメント (2012/12/10~2013/01/09)			
第9回 検討委員会 市民会議 (合同会議)	2013/02/18 15:00~		○ 計画改定版の報告について
ニヶ領用水 シンポジウム	2013/3/24		○ 計画書の公表